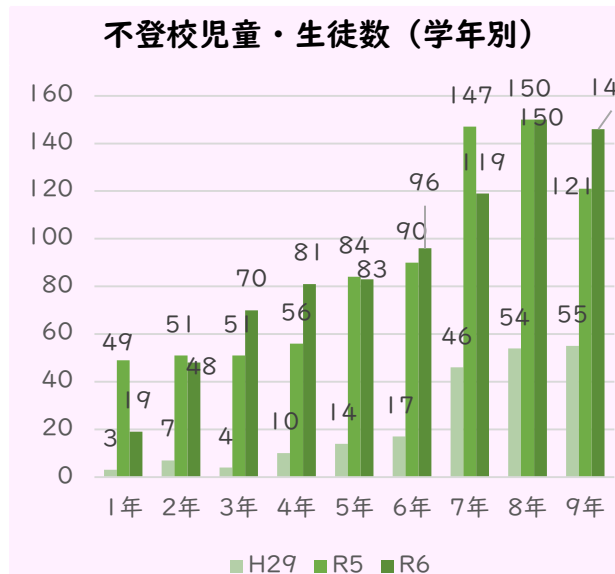
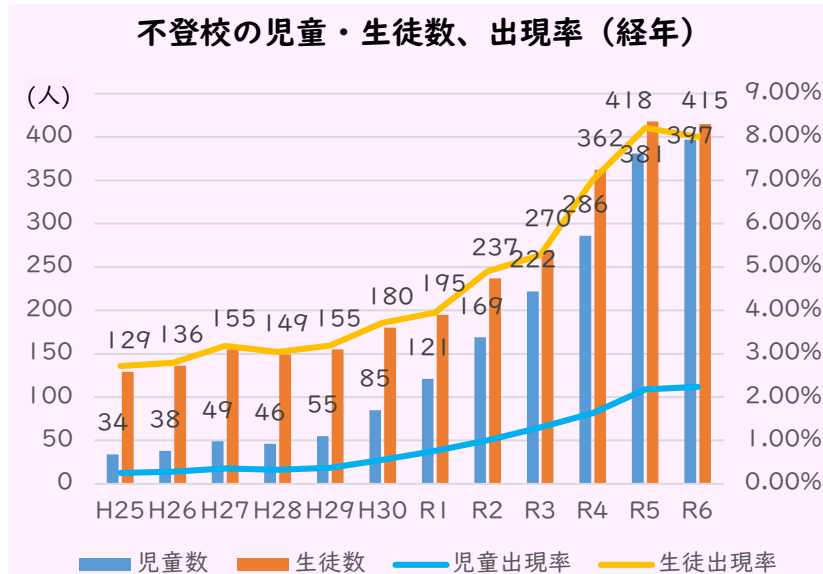


## 不登校とは

長期欠席者（年度内に30日以上登校しなかった者）のうち、何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景により、児童・生徒が登校しないあるいはしたくともできない状況にある者（ただし、「病気」や「経済的理由」、「新型コロナウイルスの感染回避」による者を除く。）。

### 本区の実態

- ・ **不登校児童・生徒数は増加傾向だが、前年度比較では微増**  
5年前との比較で児童は3倍以上、生徒は2倍以上。  
10年前との比較で児童は10倍以上、生徒は約3倍。  
平成30年度を境に急増。（コロナ前から予兆あり）
- ・ **1年生・7年生が前年度比較で大幅に減少**
- ・ **不登校の相談事実\***は「学校生活にやる気がでない」が多い  
次いで、児童は「生活リズム不調」、生徒は「不安・抑うつ」が多い。
- ・ **マイスクール通室者は、不登校全体の10.8%程度**  
児童は7.3%、生徒は14.2%（R6）



### 不登校の相談事実（令和6年度上位3項目）

- 児童**
- ① 学校生活にやる気がでない(83)
  - ② 生活リズム不調(82)
  - ③ 不安・抑うつ(77)
- 生徒**
- ① 学校生活にやる気がでない(79)
  - ② 不安・抑うつ(78)
  - ③ 生活リズム不調(70)

### マイスクール通室者数(令和6年度)

	3年	4年	5年	6年	児童計	7年	8年	9年	生徒計	合計
八潮	2	1	4	2	9	2	4	6	12	21
五反田	-	-	2	1	3	6	9	7	22	25
浜川	-	-	-	-	-	2	4	2	8	8
西大井	6	3	5	3	17	6	4	7	17	34

※不登校児童生徒数は品川区の独自調査

～多様な学びの場を提供し、誰一人取り残さない学びを目指す～

## 教育支援センター 「マイスクール」運営

4か所の居場所および学習支援を実施するマイスクールを運営していく。  
・五反田、浜川、八潮、西大井

### 【昼食支援】新規事業

マイスクール八潮において、1日授業日に仕出し弁当の無償提供を行う。

#### ・開始時期

令和7年6月30日

#### ・実績（令和7年12月末現在）

申し込み者数
29人
延べ喫食数
468食



## 校内別室指導支援員の 配置および人員拡充

学校に登校はできるが、教室に入ることができない児童・生徒を対象に、空き教室を利用して校内別室指導支援員が、きめ細かな学習支援や相談支援を行う。

・実施校：全区立小・中・義務教育学校(46校)

・支援員の配置：

元教員や教員志望の学生、心理学を専攻している学生等

各校1日4時間×週5日×40週×1名

※義務教育学校は2名配置

・報償費：1時間あたり1,600円

・利用実績（R7.12月末現在）

	児童数	生徒数
令和7年度	139人	108人

## 仮想空間を活用した 学習支援・居場所づくり

学校やマイスクール等にも通うことができない児童・生徒にオンラインによる支援を実施

- ・東京都のバーチャルラーニングプラットフォーム（VLP）事業への参加（110アカウント）、品川オンラインスクール、国際交流事業の実施
- ・利用実績

58/110アカウント（令和7年12月末現在）

### 新規事業

## フリースクール等利用料 助成事業

区立学校に在籍する不登校の児童・生徒がおり、東京都の「フリースクール等利用者支援事業（助成金）」を受給している家庭へ、フリースクール利用料の上乗せ助成を行う。

- ・対象期間 令和7年4月以降の利用料（8月受付開始）
- ・助成額 児童・生徒1人につき、1月当たり2万円（上限額）
- ・支払方法 3か月ごとの実績に応じて、年4回支給
- ・利用実績 51件（令和7年12月末現在）

## 不登校対応巡回教員の 配置[中学校・後期課程]

不登校生徒の支援、魅力ある学校づくりおよび不登校支援の助言等を行うことにより、校内における組織的な支援体制の整備について幅広く支援し、不登校の未然防止や支援の充実を図るため、3名の教員を配置し、区内15校を巡回支援。

### 【拠点校】

豊葉の杜学園、荏原第五中学校、鈴ヶ森中学校